

呼吸器内科

担当医より

当科では呼吸器全般に対応しております。主な疾患は呼吸器感染症、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、気管支喘息、呼吸不全、肺癌などです。患者さん個々人の病態に応じて診療を行い、当院で診断・加療が困難な症例に対しては高次医療機関への御紹介し連携をとりながら安全・安心な医療を心がけています。

呼吸器感染症

急性肺炎に対する抗菌剤治療の他、高齢者に多くみられる誤嚥性肺炎に対しては、言語聴覚療法師（ST）、耳鼻咽喉科医師と相談しながら嚥下機能評価、適切な食事形態の調整などを行います。

非結核性抗酸菌症（NTM）や副鼻腔気管支症候群などの慢性呼吸器感染症に対しては、可能な限り起炎菌の同定に努め、結果に応じて治療を行います。痰の喀出困難な場合には、必要に応じて気管支鏡検査を行います。

気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患（COPD）

胸部X線・CTなどの画像検査やスパイロメトリーや呼気一酸化窒素濃度（FeNO）測定などの生理検査などにより診断を行います。

COPD：しばしばみられる全身性へ依存症（心機能低下、骨格筋機能低下、栄養障害、抑うつ状態など）も考慮しながら、気管支拡張剤吸入や呼吸リハビリテーションなどを行います。

気管支喘息：病状に応じて吸入デバイス（吸入ステロイド[®] ±β刺激剤 ±抗コリン剤）の調整を行います。難治性喘息に対しては生物学的製剤の導入も検討します。



呼吸不全

急性呼吸不全に対しては、通常酸素投与の他、ネザルムイロー、非侵襲的持続陽圧換気（NPPV）、挿管人工呼吸器などで呼吸管理を行いながら、原因疾患の治療により酸素化の改善を目指し、慢性呼吸不全に対しては、呼吸リハビリテーション、6分間歩行テストなどにより酸素吸入量の調整を行い、必要に応じて在宅酸素療法（HOT）や在宅NPPV療法の導入を行います。

肺癌

肺癌に対しては、診断のための超音波内視鏡検や、治療方針決定のための迅速な病理診断・遺伝子パネル検査の必要性から、診断・一次治療に関しては呼吸器基幹病院に依頼することが多く、その後基幹病院への通院困難な方への継続治療や緩和治療主体の方への対応を行っております。

咳嗽・喀痰、呼吸苦、胸部X線異常など呼吸器疾患が疑われ、診断・治療に苦慮する患者さんがおられましたら御紹介いただければ幸いです。

社会医療法人 潤心会

熊本セントラル病院

〒869-1102 熊本県菊池郡菊陽町原水2921



096-340-5001 (代表)
096-285-5453 (地域連携部)



aaa@kchosp.or.jp

